

<p>【数学科の目標】</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
--

学習内容(予定時間数)

一学期 (52)	二学期 (64)	三学期 (40)
<p>【4月～5月】</p> <p>1章 文字式を使って説明しよう[多項式](16) 「多項式と単項式の乗除」「多項式の乗法」「乗法公式」 「因数分解」「公式を利用する因数分解」「式の計算の利用」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【8、9月～10月】</p> <p>4章 関数の世界をひろげよう[関数$y=ax^2$](20) 「関数$y=ax^2$のグラフ」「関数$y=ax^2$の値の変化」 「関数$y=ax^2$の利用」「いろいろな関数」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【1月】</p> <p>7章 三平方の定理を活用しよう 「三平方の定理」(15) 「三平方の定理の利用」「いろいろな問題」 8章 集団の傾向を推測しよう[標本調査](7) 「標本調査」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>
<p>【5月～6月】</p> <p>2章 数の世界をさらにひろげよう[平方根](16) 「平方根」「根号をふくむ式の乗除」「根号をふくむ式の加減」 「根号をふくむ式のいろいろな計算」「平方根の利用」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【10月～11月】</p> <p>5章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形](25) 「相似な図形」「三角形の相似条件」「相似の利用」「三角形と比」「平行線と比」「相似な図形の相似比と面積比」「相似な立体の表面積の比や体積比」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【2月】</p> <p>・3年間のまとめ(13)</p>
<p>【6月～7月】</p> <p>3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式](16) 「2次方程式とその解」「平方根の考えを使った解き方」「2次方程式の解の公式」「因数分解を使った解き方」「いろいろな2次方程式」「2次方程式の利用」 4章 関数の世界をひろげよう[関数$y=ax^2$](4) 「関数$y=ax^2$」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【12月】</p> <p>6章 円の性質を見つけて証明しよう[円](13) 「円周角の定理」「円周角の定理の逆」「円周角の定理の利用」 7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理](6) 「三平方の定理」「三平方の定理の逆」 ※ ワーク、単元テストで評価</p>	<p>【3月】</p> <p>・高校への数学(5)</p>

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<p><知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<p>・定期テスト ・単元テスト ・授業観察 など</p>	<p>・単元テストは業者のテストを行うことを基本とする。習熟度の様子に合わせて、追加で小テストを行う可能性もある。基本的な内容を中心としたものが出題される。 ・長期休業日明けのテストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。 実施は夏休み明けを基本とするが、習熟度の様子に合わせてGW明け等にも行う場合もある。 ・定期テストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。</p>
II	<p><思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<p>・定期テスト ・単元テスト ・定期テストのテスト直し ・授業観察 など</p>	<p>・単元テストは業者のテストを行うことを基本とする。習熟度の様子に合わせて、追加で小テストを行う可能性もある。基本的な内容を中心としたものが出題される。 ・長期休業日明けのテストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。 実施は夏休み明けを基本とするが、習熟度の様子に合わせてGW明け等にも行う場合もある。 ・定期テストは「知識・技能の観点」と「思考力・判断力・表現力の観点」を合わせて100点満点とする。</p>
III	<p><主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 [平常点] ・提出物(ワーク等) など</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 [平常点] ・ワーク提出については、1ページ1点とし、評価項目を満たしていない場合減点をする形になります。提出の際の満点はページ数になります。</p>